

「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、
平和のうちに生存する権利を有することを確認する。」



11月3日 浅香人権文化センターにてリーブインピース@カフェ（例会）を行いました。

休憩時間にはお茶とお菓子を食べてワイワイやっています、例会は定期的に行っています、どしどしご参加ください。

内容です～

1) 「冬の兵士」 in 大阪を終えて

9月16日から1週間にわたってアメリカからイラクとアフガニスタンからの帰還兵アダム・コケシュ氏とリック・レイズ氏を招いた証言集会「冬の兵士」日本ツアーがおこなわれました。9月20日の大阪集会に参加された方々や東京や他の都市の集会に参加された方々のざっくばらんな感想を語り合いました。

そして、9月17日の東京での議員会談と大阪集会をメインにしたパンフレットを作成することを決めました。今年中に完成できればいいなと思っています。

(9月20日の集会の詳しい様子はリーブインピースホームページ等に詳しく載せてますので、覗いてみてください。また、リーブインピースだより第4号で特集しています。)



2) ユリアタウン・フィールドワークに参加して

10月18日、鶴橋駅周辺のフィールドワークに参加しての各の思いを語り合いました。身近に住んでるのにゆっくりと訪れたこともなかった、初めて来たが良かった、仁徳天皇の座った石があり、その横に遙拝所が皇居に向けて拝むようになってることに驚いた、昔よく来てたので懐かしかった、昔と変わってるようだ、猪飼野の歴史がわかってよかった。公立小学校と朝鮮学校の違いが印象的であったなど、いろいろな感想がでました。

(当日、写真を見ながら感想を語る予定でしたが、不手際で見ただけなく申し訳ありませんでした。)

コリアタウンフィールドワーク

2009年10月18日

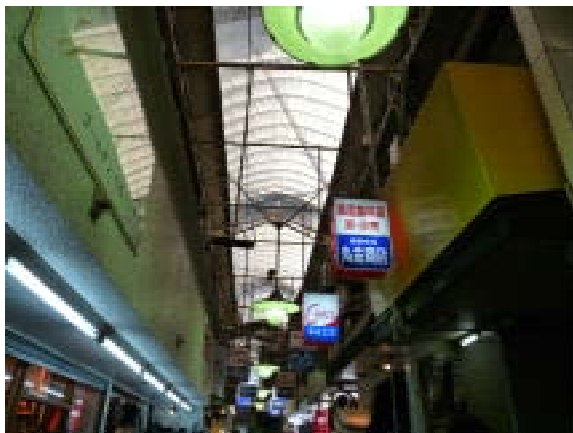
大阪環状線鶴橋駅の改札口に集合。
40人以上の参加で駅は人で
いっぱいになってました。



高校で朝鮮語と世界史を教えているお二人
の先生にご案内していただきました。



鶴橋国際市場へと



敗戦直後の混乱期に大阪最大の闇市
がつくられ、戦後の在日朝鮮の人々の
生活を支える大切な場所となりました。
その後鶴橋に居住した人々によってい
まの国際市場が形成されました。19
57年当時市内商店街でも少なかった
巨大アーケードの下には、生鮮食品店
や乾物など日本の食料品はもちろんの
こと韓国食材・衣料品など専門店が約
1500軒がひしめきあっています。

アーケードは当時のまま。



コリアタウンフィールドワーク

～身近な韓国朝鮮を楽しもう

鶴橋は大阪市生野区にあり、在日韓国朝鮮人の集住する地域です。日本の近代化の中で、朝鮮半島は日本の植民地とされ、多くの朝鮮半島出身者が日本につれて来られ、戦後も住むようになりました。日本にはこのようなコリアタウンがいくつかありますが、鶴橋は日本最大のコリアタウンです。

今回のフィールドワークでは、チマチョゴリなどの衣類やキムチをはじめとした韓国の食材を売る店が所狭しと軒を連ねる国際市場で、まず身近な朝鮮半島を味わいます。そして、「つるのはしの石碑」や御幸森神社などで古代日本と朝鮮半島の歴史について学んだあと、戦前朝鮮半島から渡ってきた多くの人々によってつくられた平野川までを散策します。最後に活気あふれるコリアタウンで"韓流"ブームがつづく現在の日本と韓国の新しい関係を感じたいと思います。(案内文より)



アーケードに世界の国旗が飾られて
ました。 国際市場の名の如く…

アーケードを抜け弥栄神社へ



祭神は渡来人の象徴とされるスサノオ
命で、もとは牛頭天王社と呼ばれて
いたが、1892年に仁徳天皇を合祀し
て現在の名前に改まったと言われて
るそうです。



↓
疎開道路を通過して御幸森神社へ



太平洋戦争末期の1944年に建物を
“疎開”させて道路を拡張したこと
から呼ばれてるそうです。



御幸森神社に難波宮を開いた仁徳天皇がこの地に渡来してきた百済の人々と先進技術を借り受けるべく何度の訪れたそうです。

遙拝所の横に仁徳天皇が座ったとされる石がまつられてた。



旧街道をって安泉寺へ↓





安泉寺…猪飼野の氏寺と言われて
いるようで、ここの住職は代々“
飼甘”=いかい姓を名乗って、古
代の猪飼野の歴史を残れされてる
そうです。

このお寺は閉まってる事が多いそ
うですが、この日は通りからお寺
の庭まで見えました。ラッキーで
した～。

猪飼野（いかいの）とは、大阪市東成区・生野区にまたがる、鶴橋から桃谷にかけてのJR大阪環状線東側と平野川に挟まる地域とその周辺の地域の総称。

古代・仁徳天皇の時代に、多くの「渡来人」がこの地にやってきた。特にこの地域は百済からの渡来人が多く古くは「百済郡」と呼ばれていた。その渡来人たちがブタ（猪）を飼う技術を持っていたことからこの地域を「猪飼野（いかいの）」と呼ぶようになる。さらに、渡来人のもたらした優れた技術により、文献上の日本最古の橋がここを流れる「百済川」（現在の平野川）に架けられ、通称「つるのはし」と呼ばれたことから現在の「鶴橋」の地名の元となる。

この地は大阪有数の農村であり、大阪中心部への野菜の供給地であった。しかし、日露戦争や第一次世界大戦時の好景気を反映してこの地の周辺に住宅や工場の立地が相次いだ。また、農地を住宅地に転換する地主や耕作をやめて働き勤めをする小作人も増えてきた。こうした中、1919年ごろに地域内の地権者により「鶴橋耕地整理組合」が結成され、民間主導で農地の整理と下水道の整備が行われた。この時にこれまでくねくねと曲がって流れていた平野川をまっすぐに付け替える改修工事が行われた。当時、大阪 - 済州島間直行便が就航したことを背景として大量に渡航してきた朝鮮民族が労働者として集められた。これを機にこの地域に在日韓国・朝鮮人の人口が急増する。農地だった場所は新平野川水路を中心に区画整理され、農地として有効利用されるのではなく、急速に市街地化していった。

耕地整理事業終了後もこの地にとどまり、太平洋戦争を経て、この地に根ざした在日韓国・朝鮮人によってコリアタウンが形成されていった。(ウィキペディアより)

安泉寺から つるのはし碑へと





「つるのはし」は日本最古の橋として名高い「猪甘津の橋」の古跡とされているそうです。

「つるのはし」の由来は昔このあたりに鶴が多く群れてたこと、もう一説には“津の橋”から訛ったものと言われています。



コリアタウンへ



御幸通商店街は、旧猪飼野（今の桃谷付近、在日コリアンの集住度がもっとも高いと言われている）のほぼ真ん中に位置しているが、戦前の御幸通商店街で店を構えていたのはすべて日本人だった。この地域に住む朝鮮人の市場は、御幸通商店街の中央部にある南北の細い路地を入ったところにあって、小規模な店舗兼住宅が30軒ほどで同胞向けの食品店や日用雑貨店が営まれていた。

その後太平洋戦争で大阪への空襲が激化して、この周辺の日本人も田舎へ疎開を始め商店街には空き家が増えていった。そして戦後になってそれらの空き家を手に入る朝鮮人が増え表通りである御幸通が「朝鮮市場」に変わっていった。

1993年に「KOREA TOWN」「KOREA ROAD」に！

藤田綾子著『大阪「鶴橋」物語』より



沢山の種類のキムチが店頭で並んでました。
 トマトのキムチもありました。
 食欲をそそられながら →二つの小学校へ



この日はお祭りでだんじりが通過。

朝鮮第四初級学校



御幸森小学校(生野区の公立小学校)
 屋上にプールがあるそうです。



言語や文化を学んでます。
 同じ小学校なのに、朝鮮学校は「各種学校」のため援助がおりず、設備などが十分にそろえられないそうです。



〔「慰安婦」問題〕

連立政権誕生を受け、今こそ立法による解決を！

～10・28院内集会報告～

10月28日12時から衆議院第2議員会館において、戦時性暴力問題連絡協議会の主催による院内集会が開かれました。韓国・台湾からゲストをお招きし、市議会で意見書をあげた三鷹市、小金井市、国分寺市からも市議が参加しました。全国から50人ほどが集まり、狭い会場は熱気に包まれました。



特に民主党を中心に11人の国会議員と12人の秘書が参加したことは特筆すべきです。国会議員の中にも「慰安婦」問題の解決に意欲を持つ議員が少なからずいることに確信が持てました。

韓国からは李容洙ハルモニと尹美香・挺対協共同代表が参加されました。李容洙ハルモニは「私たちが生きているうちにこの問題を解決してください。」と強く訴えられました。台湾婦女救援社会福祉事業基金会の副執行長である康淑華さんからは、台湾被害者の辛い現状が報告されました。フィリピンのリラ・ピリピナとロラズ・センターからも集会にメッセージが寄せられました。日本軍「慰安婦」被害者の尊厳回復のために、立法解決を実現させる活動を強める事が呼びかけられました。

玄海原発プルサーマル中止要望書に賛同しました

佐賀県の九州電力玄海原子力発電所3号機で、日本で初めての「プルサーマル」の起動が強行されてしまいました。プルサーマルとは、ウラン燃料を使うように設計された原発で、設計に反してプルトニウムを混ぜた燃料（MOX燃料）を使って発電を行うことです。MOX燃料には、融点が下がる、ガス発生が増える、制御棒の効きが悪くなるなど、ウラン燃料と比べて安全上不利な点がたくさんあり、原発を一層危険にするものです。



関西から佐賀に送られた寄せ書き

プルトニウムは長崎型原爆の材料であり、微量でも体内に蓄積されると非常に高い確率でガンを引き起こす猛毒物質です。

これをやめさせるため、佐賀県と福岡県の市民団体などから、政府と佐賀県知事、玄海町長、九州電力にあてた、

「46万人もの人々がプルサーマルの中止を求めています。人々の声を無視しないでください！玄海原発プルサーマルを中止するよう、強く要望します」

という要望書が提案されました。

11月3日のアットカフェで提起され、リブ・イン・ピース☆9+25も、この要望書に賛同することを決めました。私たちは、原発や再処理工場に反対する立場であり、危険で猛毒のプルトニウムを原発で利用するプルサーマルの実施に反対していきます。

[投稿] 映画『カムイ外伝』と漫画『カムイ伝』 身分制度との闘いと壮大な農民一揆を描いた漫画『カムイ伝』も是非

映画『カムイ外伝』を見に行ってきました。漫画を実写にした場合、往々にして漫画のイメージとのギャップがありすぎて見るに堪えないものになりがちなのですが、この映画の場合、カムイを演じた俳優も他の俳優もそのキャラクターにふさわしい人選であったと思います。ストーリーも結末もだいたい原作通りでした。

しかしながら、この作品を満喫するほどに映画の世界に没入できたかと言えばそうではありませんでした。その一番大きな理由は、主人公カムイが忍者になったのは「貧しさ」の故であったというナレーションです。

貧しさ…、もちろんそれもありますが、カムイが忍者になろうと思った最大の理由は差別だったのではないのでしょうか。彼が「非人」という江戸時代の身分制度の最下層に生まれたということ、これなしに彼の人生を語ることはできません。そして彼の貧しさの原因はこの差別によるものでした。この面が映画の中で無視されているわけではありません。少年時代の彼が非人として差別を受ける場面も描かれています。ただ、この映画全体からすれば、それは背景のひとつという位置しか占めていません。

漫画『カムイ伝』においては身分差別の理不尽さが様々な立場の人々の姿を通じて描かれています。



非人から忍者となったカムイだけでなく、下人から本百姓となった正助、一揆に敗れて農民から非人に転身した苔丸、家老の息子に生まれながら思いもかけず非人の暮らしに身を置くことになる草加竜之進、金で力を越えてのし上がろうとする商人の夢屋、そして自由を求めて抜忍となった赤目…、主立った人物だけでも数十人はいるのでしょうか。全体では数え切れないほどの人々が登場し、身分制度の中で苦闘します。

権力者側は自分の支配を維持しようとしてありとあらゆる手段を使って人々を分断します。農民を弾圧するのに非人を先兵として使い、お互いをいがみ合わせます。初めはその策略のままに分断され支配されていた農民と非人が、最初のごく少数の者たちから始まって、互いに理解しあっていく様子はとても感動的です。その結びつきは何度も卑劣な陰謀によって打ち破られますが、そのたびにまた新しい結びつきが生まれていきます。それは、ある時にはどれほど悲劇的な様相を呈しようとして、それは一時的なものに過ぎず、また新しい展開があるのだということ

を感じさせます。

『カムイ外伝』が映画化されたことは、現在の格差や差別の拡大、貧困の増大と深く関わっていると思います。映画『カムイ外伝』を見て興味深いと思われた方は、ぜひ原作の漫画『カムイ伝』を読まれることをお勧めします。(鈴)



11月8日辺野古への新基地建設と県内移設に反対する県民大会 21000人が結集し、普天間即時閉鎖、辺野古移設反対を突きつける

普天間飛行場の県内移設反対を訴える県民大会が11月8日、沖縄県宜野湾海浜公園で開かれ、県内外から約2万1000人（主催者発表）が参加しました。大会スローガンで、「世界で最も危険な普天間基地」の即時閉鎖・返還、日米地位協定の抜本的改定などを求めました。ライブ・イン・ピース☆9+25も代表を派遣しました。

沖縄県民大会会場の1つの野外音楽堂をぎっしり埋め尽くした参加者



沖縄国際大学学生塩川恵利奈さんが「決議案」・「スローガン案」を読み上げ、会場割れんばかりの拍手で採択しました。最後に「団結頑張ろう」が三唱され、晴れ渡る沖縄の青い透き通る空に、沖縄県民の思いと怒りのこぶしが突き上げられました。

ライブ・イン・ピース 9+25

TEL 090-5094-9483（事務局 大阪）

E-mail info@liveinpeace925.com

<http://www.liveinpeace925.com/>

郵便振替：00910-5-107564

加入者名：ライブインピース

